

自転車通学路を合同点検

うべこまち、宇部工高とワークショップ



参加したメンバー（提供）

うべ交通まちづくり市 み山口大大学院創成科学
民会議（会長・村上ひと）研究科准教授）がこのほ

ど、宇部工高の生徒会役員と共に自転車通学路点検ワークショップを行った。

大学生、市職員を含めて18人が参加し、2班に分かれて小学生の通学路にもなっている浜バイパス、自転車レーンの整備・未整備区間が混在する産業道路、生活道路の琴芝通り、歩道の片側で坂道の工学部通り計5・8ヶ所を自転車で走行。通行方法や道路改善策、注意点などを話し合った。

市協働のまちづくりの提案サポート事業助成金を受け「自転車まちづくりセミナーと自転車通学路点検ワークショップ」として2月に続いて実施。生徒からは▽浜バイパスは車道に自転車レーン

を設けて▽産業道路は路肩が荒れていて危険▽琴芝交差点など歩車分離の信号では、車道の自転車がいつ進むのか戸惑▽神原交差点は直進時、左折の車に危険を感じる▽琴芝通りは電柱が進路にあり、自転車がはみ出すと車と接触しそうで危険—などの意見が出た。

「落ち葉が滑りやすい」などの指摘も受け、市では道路の維持管理の重要性を再認識。うべこまちはメンバーは「同校の生徒は左側通行などルールを順守している。工学部通りの下り坂など自転車マーク矢羽根を入れて。浜バイパスは制限時速60キロではなく50キロ規制でいいのでは」などの声があがった。

（松原）